

## 第2学年 国語科学習指導案

日時：平成24年11月16日（金）  
指導者：1組 藤原 智美  
3組 坂下 美穂

1 単元名 自分だけの図書館マップを作って図書館のひみつを紹介し合おう  
～ぼくたち子ども司書～

### 2 教材名

- (1) 中核教材名 きみたちは、「図書館たんていだん」（光村図書 2年下）  
(2) 補助教材 ①図書館マップ・図書館掲示物・書架の写真（本校作成）  
②お願いカード（教師作成）・オリジナル図書館マップ

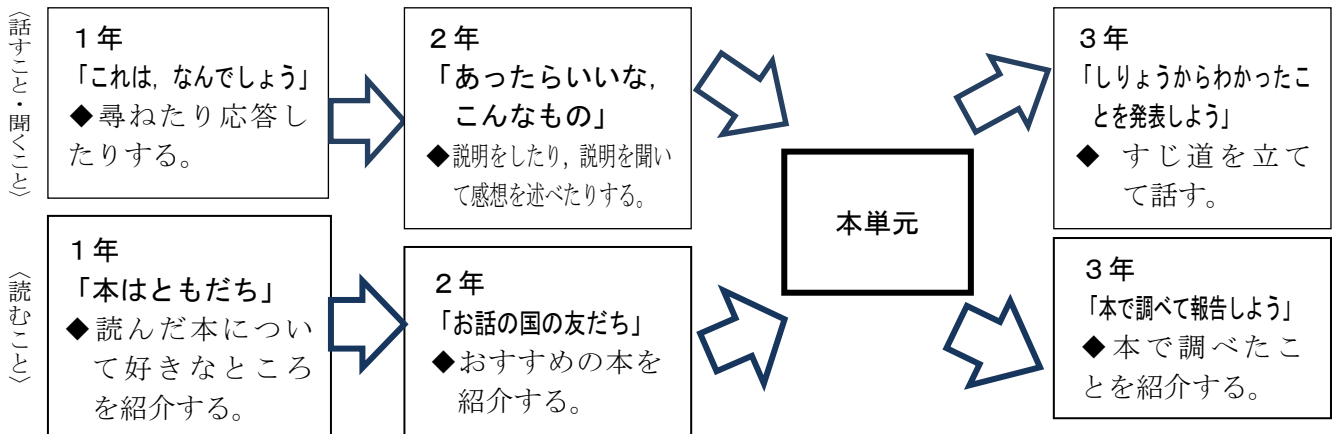
### 3 単元を貫いて位置付ける言語活動とその説明

#### 単元を貫いて位置付ける言語活動（第1・2学年 言語活動例 Cウ Aエ）

図や写真，掲示物や題名などの情報を読んで自分の図書館マップを作り，図書館の本の分類や配架などについて分かったことを紹介し合うこと。

- ・図や写真，掲示物や題名などの情報を読むようになることにより，題名や作者名に加えて，本の種類によっても目的の本を探すことができるようになる。
- ・自分で図書館マップを作ることにより，図書館の本の分類についての理解を深めたり，進んで図書館マップを活用するなど見通しをもって読書活動に取り組む態度を育成することができる。
- ・自分の図書館マップを紹介する活動を通して，話す事柄を整理して聞き手に分かりやすく説明する話し方や丁寧な話し方を理解することができる。
- ・自分の作った図書館マップを紹介し合うことにより，図書館の本の分類や並び方の工夫などについての理解を深め，多様な情報を共有することができる。

#### 【言語活動の系統】



### 4 単元について

#### (1) 児童について

2年生の児童は進んで本を読む子が多く，読書活動に対して意欲的である。しかし，休み時間にも積極的に図書館を利用する児童と，身近にある学級文庫を中心として読む児童に分かれてきており，図書館の機能が十分に活用されているとはいえない。

また，日常の様子や事前に行ったアンケートの結果を見ると，見た目の印象やどこかで見たり聞いたりしたことのある本を選ぶ児童が多かった。このことから，読む目的を意識して本を選んでいる児童は少ないという傾向がうかがえる。本校では，本を選ぶ手がかりになるよう，図書館や各教室に図書館マップが掲示されている。しかし，低学年の児童の中には，マップと実際の空間を結び付けることが難しい児童も多く，図書館マップが読書活動に十分に生かされていないという実態がある。

本単元の学習によって、児童が図書館を活用しながら目的や見通しをもって読書活動に取り組むことができるようにしていきたい。

## (2) 教材について

中核教材である“きみたちは「図書館たんていだん」”では、冒頭に「きみたちは図書館たんていだんだ。読みたい本をすばやく見つけ出せる、名たんていになってほしい。」という課題が出てくる。また、挿絵にも探偵になった子どもの姿が載っている。そのため、低学年の児童でも図書秘密に興味をもち、進んで課題に取り組もうとする意欲を高めることができる。更に、2種類の「おねがいカード」の指令を受けるという形で、実際に図書館を探検して目的の本を探したり、図書館の情報を基にした図書館マップを作ったりするという具体的な活動を組み込んでいる。このことによって、児童は楽しみながら本の分類や図書館の仕組みについて学ぶことができると思われる。

補助教材である本校の図書館マップや図書館の掲示物は、目的の本を探すための重要な情報である。図書館の秘密を探る際に図書館マップや図書館の掲示物や表示などに着目させることで、それらをテキストとして活用する力を付けることが期待できる。また、どのようにして本を探したかという事実や、マップを作りながら気がついたこと等を聞き手に分かるように話して紹介する活動を通して、発表する事柄を思い出したり順序立てて話したりする力を身に付けることができる。

本教材は、児童が楽しみながら図書館の機能と構造の大体について理解し、経験したことを紹介し合っ、読書生活を充実させていくために効果的な教材である。

## (3) 指導に当たって

これまでの国語の学習において、児童は様々な本にふれてお話の好きな場面を紹介したり、気に入った本を紹介したりしながら読書の幅を広げる活動を行ってきた。本単元では更に、図書館の仕組みを理解し、図書館を効果的に活用して読書活動に生かすための学習が展開されている。本単元が、これから本格的に図書館を活用していくための第一歩となる。

第一次では、一人一人が「お願いカード」に書かれた本を図書館で探すという活動を行う。「お願いカード」に書かれている本は、以下の観点で用意する。

- 2年生の児童が、これまで手に取っていないと思われる本
- 今後、読書の幅を広げていくことができそうな本
- 題名からの情報だけでは、分類が複数考えられる本
- 同じ本棚に並んでいる本が、比較的分かりやすい分類になっているもの

“誰かが求めているけれど、どこにあるかわからない本”を探す活動を通して、児童自らが本を探す手がりの必要性を感じ、「図書館の秘密を探って図書館マップを作る」という本単元の学習の目的意識をもつことができるようにする。そこから学習課題や学習計画を立てていくようにしたい。

本校の図書館の秘密を探るに当たっては、以下の点を手がかりに目的の本を探せばよいことに気付かせたい。

- 棚に表示されている本の番地を見つけて探す。
- 本のなかまを見つけて探す。  
(なかまの例)・世界や日本の昔話      ・○○シリーズ      ・国語の教科書に出てくるお話  
                    ・図鑑や色々な勉強に使える本      ・同じ作者の本

この他、本校の図書館は、ニーズに応じてコーナーが細分化されているが、“図書館は目的の本を探しやすいように配架が工夫されている”ということをしかりと押さえ、図書館の本の分類方法や並べ方の工夫についておおまかに理解できるようにする。その上で、学習したことを活用して自分が司書の立場になってお勧めの本や本のなかまを紹介するための図書館マップを作るという課題を設定する。

第二次では、自分が図書館で調べた本のなかまや紹介したい本についての図書館マップを作る

活動を行う。まず実際に図書館に行き、学習したことを使って自分が紹介したい本のなかまの棚がある場所を探して図書館の白地図に書き込む。更に、本棚がある場所の説明や同じなかまの本を探す過程で気が付いたことや本棚の特徴などをカードに記入する。それらを貼り合わせて自分だけのオリジナル図書館マップを作る。マップに整理する情報は次のような点が考えられる。

- 紹介したい本棚のある場所
- 本棚の番地
- 本棚の表示
- 同じ本棚のなかまのおすすめの本
- 本のなかま（本棚）の特徴
  - ・ 作者や題名
  - ・ 内容、文や写真の分量など

これらの活動によって、児童が図書館の本の分類についての理解を深め、主体的に図書館を活用しようとする意識をもつことができるようにしたい。

第三次では、各自の図書館マップを基に、一人一人が司書になったつもりでマップに書かれたことを小グループごとに発表し合う。グループは、同じ本のなかまに偏らないように編成する。お互いの調べたことを交流することで図書館の本についての情報を共有したり、学習の成果を認め合ったりすることができるようにする。児童が作成したマップはコーナーを設けて保管するなどして、日常的に活用することができるようにしたい。

## 5 単元を通して育てたい読書力

- A 自らの読書生活を振り返り、読書の意欲をもち続け、読書を習慣化する力
- D テキストを活用して自己表現し、他者と交流する力

## 6 単元の指導目標

- ◎ 図書館での本の並び方に興味をもち、図書館の機能と構造の大体を知ろうとしたり、調べたことをすすんで紹介しようとしたりする。 (関心・意欲・態度)
- ◎ 図書館の本の並べ方の特徴について知るため、図書館の様々な情報を読み取ることができる。 (C読むこと カ)
- 相手や立場に応じ、話す事柄を順序立てて、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すことができる。 (A話すこと・聞くこと イ)
- 敬体を使って話すことができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ))

## 7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	話す能力・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
・ 知りたいことに関する情報を得るために、必要な情報を選んで読んだり、調べたことを進んで紹介しようとしたりしている。	・ 図や写真、掲示物に着目して目的の本を探している。(カ) ・ 自分がさらに興味を広げるための本や友達に紹介したい本について必要な情報を整理している。(カ)	・ 紹介する事柄の順序を考えながら話す内容を構成している。(イ) ・ 紹介する際に用いる言葉を繰り返し声に出して確かめながら、内容がより具体的に伝わる言葉遣いを考えている。(イ)	・ 相手や場に応じて言葉の使い方が変わることを意識して話している。(イ(キ))

8 指導計画 (C読むこと5時間 A話すこと・聞くこと2時間)

次 時	○目標 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価 (方法)	テキスト
1 (一組 本時)	<p>○図書館で、グループや各自が「お願いカード」に指定された本を探し、図書館の本の並び方の工夫に気づくことができる。</p> <p>・各々が「お願いカード」に書かれた本がどこにあるかを予想し、実際に図書館のマップや掲示物などの情報などを基に目的の本を探す。</p> <p>・本を探しながら気付いたことを交流し、図書館の本の分類の仕方について学ぶ。</p> <p><b>【分類の工夫】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○本の番地</p> <p>○なかまごとの分類 等</p> </div>	<p>○ジャンルが偏らないよう配慮しながら事前調査をもとに児童全員分の「お願いカード」を用意し、自力で目的の本を探すことができるよう見守る。</p> <p>○読書活動支援員と事前に打ち合わせをし、必要なヒントは与えるようにする。</p> <p>○本を探したときの児童の気付きから本の分類の仕方についてまとめるようにする。</p> <p>☆図書館マップや掲示物などの情報を読んで、図書館の配架や分類の工夫に気付くことができたか。(観察・ワークシート)</p>	<p>お願いカード</p> <p>図書館マップ</p> <p>図書館の掲示物</p> <p>図書館の表示</p>
2	<p>○単元の学習課題と学習計画を立てることができる。</p> <p>・本の分類の仕方と配架の仕方について分かったことを再度整理する。</p> <p>・自分の図書館マップのテーマを確かめる。</p> <p>・単元の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>じぶんだけの図書かんマップを作り、し書になってしようかいし合おう。</p> </div> <p>・学習計画を立てる。</p>	<p>○実際の本の並び方と既成の図書館マップを照らし合わせ、図書館マップの意味と使い方について確認する。</p> <p>○本の並び方の工夫は図書館によって多少違うことを知らせる。</p> <p>○司書という言葉と意味について知らせる。</p> <p>○自分だけのマップを作って紹介し合うことのよさに気付くことができるようにする。</p> <p>☆学習の目的が分かり、学習計画を立てることができたか。(発言・ワークシート)</p>	<p>図書館マップ</p>
3 ・ 4	<p>○図書館マップを作るための情報を集めることができる。</p> <p>・図書館に行って自分が紹介したい本棚がどこにあるかまた、どのようななかまに含まれるか調べる。</p> <p>・紹介したい本と同じなかまや似たような傾向の本についても調べる。</p> <p>・なかまの本の傾向について調べる。</p> <p><b>【マップに必要な情報】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○紹介したい本棚のある場所</p> <p>○本棚の番地</p> <p>○本棚表示</p> <p>○同じ本棚のなかまのおすすめの本</p> <p>○本のなかま(本棚)の特徴</p> </div> <p>・調べたことをカードに書き出し、マップの台紙に貼る。</p>	<p>○自分が紹介する本棚の情報を集める手助けをする。</p> <p>○図書館の白地図と調べた情報を書き込むカードを用意する。</p> <p>☆自分の図書館マップを作るための情報を集めることができたか(観察・ワークシート)</p>	<p>図書館マップ</p> <p>白地図</p> <p>図書館の掲示物</p>

5 (三組 本時)	<p>○ 自分が紹介したい本棚の特徴をまとめ、図書館マップを仕上げることができる。</p> <p>・ 紹介する本棚の特徴を明確にするために、各自が調べた本棚の特徴について交流し、観点別に分類し整理する。</p> <p><b>【本のなかま（本棚）の特徴の観点】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 作者や本の題名</p> <p>○ 本の内容（△△がわかる本・□□なお話）</p> <p>○ 文や写真の分量</p> <p>○ 分類番号 等</p> </div> <p>・ 交流したこと基に、自分が紹介したい本棚の特徴を明確にしてワークシートに書き出す。</p> <p>・ 本棚の特徴を基に、ワークシートに おすすめの一言を書く。</p> <p>・ 本棚の特徴とおすすめの一言をカードに清書し、台紙に張り合わせて図書館マップを仕上げる。</p>	<p>○ 自分がなぜその本のなかまを紹介したいのかを考えさせ、自分のテーマにあった図書館マップを作ることができるようにする。</p> <p>○ 自分が調べたことを想起できる資料を用意する。</p> <p>☆ 調べたことや紹介したい理由を図書館マップに書き表すことができたか。(各自の図書館マップ)</p>	図書館の棚の写真
6	<p>○ 調べたことを紹介するため、発表の内容を整理し、発表メモを作ることができる。</p> <p>・ マップに書き込んだことの要点を整理して紹介する練習をする。</p>	<p>○ 紹介したいことの要点が伝わるように支援する。</p> <p>☆ マップに書かれたことの要点を整理して、相手に伝わるように敬体で話しているか。(観察)</p>	各自の図書館マップ
三 7	<p>○ 子ども司書になって、図書館マップをもとに調べたことを紹介し合うことができる。</p> <p>・ 調べたことを丁寧な言葉でわかりやすく発表する。</p> <p>・ 聞き手は、興味をもったことや更に知りたいことについて質問する。</p>	<p>○ 同じ本のなかまのマップに偏らないように5～6人のグループをつくり、小グループでの発表会ができるようにする。</p> <p>○ 各自が作ったマップは学級ごとに綴って、これからみんなで活用することができるようにする。</p> <p>☆ 図書館マップの内容について、丁寧な言葉を使いながら友達に説明し、また聞き手は更に知りたいことを質問しているか。 (発言・観察)</p>	各自の図書館マップ

9 本時の指導【1組 1 / 7】

(1) 本時の目標

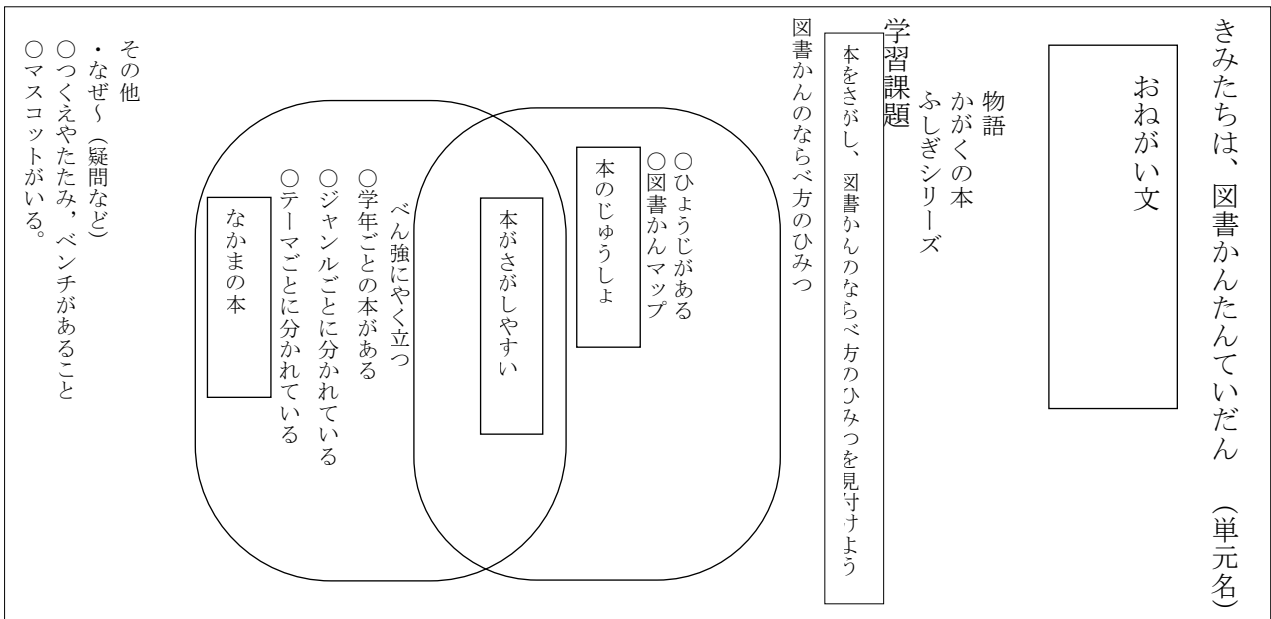
指定された本がどこにあるか、題名やこれまでの図書利用の経験から予想を立てるとともに、図書館マップや書架の表示に着目して必要な情報を収集し、図書館の本の並べ方や工夫に気が付くことができる。

(2) 本時の展開

段階	学 習 活 動	◎重要思考と言語操作 ○留意事項 ☆支援
導入 (五分)	<p>1 日常活用している学校図書館での活動を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく借りている本の種類</li> <li>・借りる際、本の住所をカードに書く</li> </ul> <p>2 図書館の先生からの「おねがい」を聞き、学習内容を知る。</p> <p>3 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本をさがし、図書かんの本のならべ方のひみつを見つけよう。</p> </div> <p>4 学習の流れを確認する</p>	<p>○日常、借りている本の種類を想起させることで本の探索の際の手がかりとさせる。</p> <p>○録音テープとおねがいカードにより、図書館の先生からのお願いを知らせる。</p> <p>☆相談が容易になること、棚の中の本のジャンルが把握しやすくなるであろうことを期待し、グループ内の児童は、近くの書架の本を探すことになるよう準備する。</p> <p>○学習の流れを確認することにより、見通しをもって学習できるようにする。</p>
展開 (三十分)	<p>5 グループの「おねがいカード」を受け取り、本を探す。(グループ)</p> <p>(1) 本の見つけ方を話し合い、メモ係が最初の検索方法を黒板に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名や分類番号から本の仲間を予想する</li> <li>・図書館マップや表示を見る</li> <li>・棚の表示を見る</li> <li>・本の背表紙を読む</li> </ul> <p>(2) グループ宛の「おねがいカード」の本を探す。</p> <p>6 本があった場所と見つけ方を交流し、図書館の配架や分類について話し合う。</p> <p>(1) 図書館の分類について気付いたことをカードに書く。</p> <p>(2) グループで見つけたひみつを交流し、カードの内容について話し合う。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ内容の気付きはあるか(同じ気付きのカードは重ねる)</li> <li>・違う内容の気付きのカードについては、質問し合い共通理解する。</li> </ul>	<p>◎ループで探し方の情報を交換したり、共有したりするために、グループ宛の「おねがいカード」を渡し、探させる。</p> <p>☆本の分類について気付くことができるように、次の支援を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「おねがいカード」の内容の工夫、本の分類</li> <li>②学習形態の工夫</li> <li>③思考の種類を提示する(グループのメモを掲示し、他のグループのヒントとなるようにする)</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価</p> <p>おねがいカードの本を見付け出し、図書館には、住所があることや、仲間ごとに並べてあることに気付いている。(観察・ワークシート)</p> <p>☆何のなかまの本か予想させ、図書館マップに気付かせる。</p> </div> <p>○図書館の本の他に環境面の事柄が出てきたときは、「その他のひみつ」としてカードに貯めていく。</p>

<p>展開 (三十五分)</p>	<p>7 カードを整理して、図書館のひみつについて気付いたことを発表し、交流する。(全体)          (1) 整理しながら黒板に掲示する。          (2) 整理したカードの分類に名前を付ける。          (3) 「本の住所」や「仲間の本」に分けられていることが「探しやすい」工夫であることに気付く。</p> <p>8 個人宛の「おねがいカード」の本を探す。(個)</p>	<p>○考えを整理しやすいように、ちがう内容のカードをはり出すようにさせる。          ◎整理したカードが「本の住所」「なかまの本」に分けられていることを確認する。          ☆「図書かんのひみつ」は、必要な本がすぐに見つけられるようになっていることに気付かせる。</p> <p>◎学習活動5～7で習得した力を活用させるようにする。</p>
<p>終末 (五分)</p>	<p>9 本時の学習のまとめと振り返りをする。          図書かんのひみつは、本を探しやすいような工夫がたくさんあること。</p> <p>10 次時の学習内容をつかむ。</p>	<p>○次時は、学習課題や学習計画を立てることを知らせる。</p>

10 板書計画



9 本時の指導【3組 5／7】

(1) 本時の目標

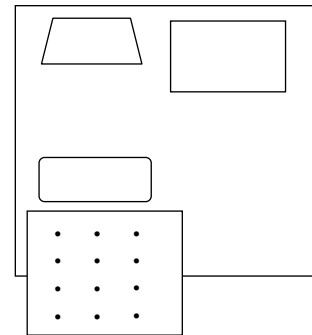
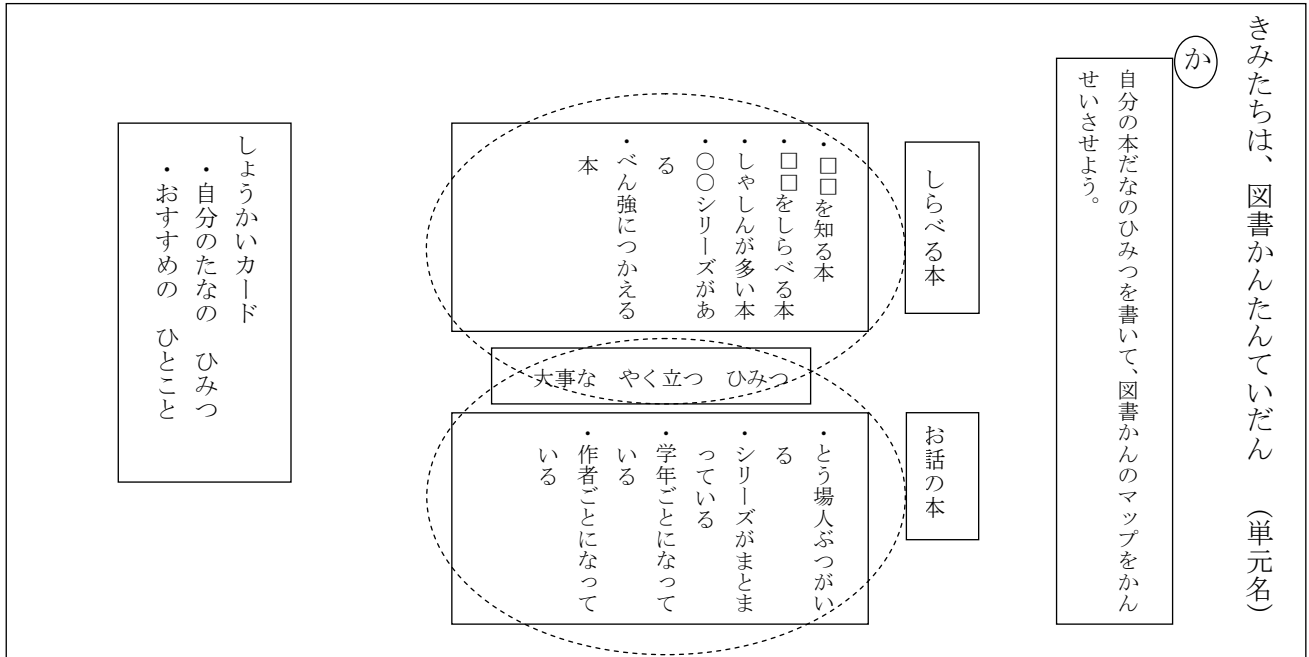
図書館で集めた情報を基に、自分が紹介する本の棚の特徴を統合し、図書館マップを作ることができる。

(2) 本時の展開

階	学 習 活 動	◎重要思考と言語操作 ○留意事項 ☆支援
導入 (五分)	<p>1 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     自分の本だなのひみつを書いて、                      図書かんマップをかんせいさせよう。                 </div> <p>2 学習の流れを確認する。</p>	<p>○前時まで集めた情報を、児童の机上と同じように黒板に貼りだしておく。</p> <p>○学習の流れを確認することにより、見通しをもって学習できるようにする。</p>
展開 (三十五分)	<p>3 自分の本棚の特徴に気付く。</p> <p>① ワークシートに自分が紹介する本棚の「ひみつ」(特徴)を選び、たんざくに書く。(個)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本棚の中の本について気が付いたこと</li> </ul> <p>② グループでたんざくを交流する。(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通点や相違点はどこか。</li> </ul> <p>③ 棚の特徴をはっきりさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たんざくを黒板に貼り、お話の本のグループとしらべる本のグループ毎に共通点や相違点について考える。</li> <li>・しらべる本やお話の本が図書館のどこにあるか気付く。(全体)</li> </ul> <p>4 自分の本棚について下書きをし、ワークシートを基に本型カードに清書する。(個)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の本棚のひみつをワークシートに下書きをし、おすすめの一言を書く。</li> <li>・本型シートに本棚のひみつとおすすめの一言を清書する。</li> </ul> <p>5 図書館マップにまとめて、気が付いたひみつについて発表する。(全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○自分の本棚は、□□□を調べたい人におすすめできる本がたくさんありました。</p> <p>○わたしが調べた本棚のひみつは、△△△な本がたくさんあることです。▲▲▲を知りたい人に便利です。</p> </div>	<p>○青葉図書館の様子を思い出せるように、児童がメモしている様子の写真の掲示をする。</p> <p>☆個人毎の本棚の写真を配布し、すぐに確認できるようにする。</p> <p>◎前時に集めた情報の中から、自分なりの理由を説明することができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価</p> <p>自分の本の棚が、お話の本か、しらべる本か、また、それらの本の題名や内容の特徴が分かり、図書館の中での位置づけについて考えることができたか。(ワークシート)</p> <p>☆自分の本の棚の特徴が分からない児童には、写真の背表紙や記号、本棚の表示に着目させる。</p> </div> <p>○本棚のひみつを図書館マップにまとめて気が付いたことについて交流する。</p> <p>○書いたおすすめ文をもとに発表させる。</p>
終末 (五分)	<p>6 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     どの本だなのにも、大切な役立つひみつがある。                 </div> <p>7 次時の学習内容をつかむ。</p>	<p>○学習の履歴になるよう、一覧表に自己評価させる。</p> <p>○マップ紹介の紹介原稿を書き、練習することを確認し、次時への意欲付けをする。</p>



10 板書計画



図書かんマップ